

KAMO HIGH SCHOOL INFORMATION

Kamo

加茂高だより

第147号

2018年(平成30年)

12月17日発行

発行者: 県立加茂高校 PTA

編集: 広報部

*8ページ目は定期制のページです。



加茂高大賞 3-1



優秀賞 3-4



優秀賞 3-5



優秀賞 1-1



優秀賞 2-1



投票賞 3-7



昭和、平成、また来年5月からは新しい元号が始まります。80年、90年、100年、ずっとその先まで加茂高は続いていきます。今までの歴史を振り返り、先輩たちが築いてきた伝統をしっかりと受け継ぐとともに、今後の加茂高の新たな伝統を創っていく一人であるという自覚を持つて、学校生活を送ってほしいと思います。

しかし、文武両道や自主性を重んじる自由な校風はいつの時代も変わることなく、今なお引き継がれていることは非常に素晴らしいことだと思います。

70年という年月はとても長く、「高度経済成長」、「バブル崩壊」など、今の生徒の皆さんが歴史の授業で習うような多くの出来事が世の中で起きました。

卒業生である北川悦吏子さんの記念講演は残念ながら中止になりましたが、「明朗進取・誠実努力・親愛奉仕」を校訓とする加茂高の多くの卒業生が各界で活躍されています。

加茂高春秋

加茂高等学校 創立70周年記念式典

10月14日(日)に、加茂高校創立70周年記念式典が本校体育館で行われました。当日は明け方の雨も止み、さわやかな秋晴れの下、来賓20名を迎えて、在校生や同窓生ら約千人が出席して70周年を祝いました。

実行委員長である渡辺隆晴同窓会長の挨拶の後、藤掛賀津博校長は自らの夢や目標の実現に向けて、何事にも「挑戦」する意概をもち、本校の良き伝統を次の10年、20年先へ受け継いでくれることを期待するとともに、農かな人間性をもち、地域社会の発展に貢献できる人材育成に全力で努めていくと挨拶をしました。生徒会代表の森下幸香さんはこれまで培つてきた古き良き伝統を継承し、新しい分野にも積極的に挑戦する加茂高生であり続けたいと述べました。

寄贈品目

録の一つとして、本校卒業生で版画家の船坂芳助氏から寄贈された記念の版画作品も紹介されました。



なお、本校の創立70周年の開催にあたり、ご尽力いただいたすべての方々に、深く御礼申し上げます。今後も、加茂高等学校が卒業生、地域の皆さんとの期待に応える学校となるように努めていきますので、一層のご支援をお願いいたします。

PTA社会人講座を終えて

進路学習部長 山口 博子



本校の卒業生で「半分、青い。」の脚本家である北川悦吏子氏からのメッセージが紹介されました。本校での思い出や、高校時代の経験からインスピレーションを受けて「半分、青い。」のエピソードを作成されたことなど、が盛り込まれたメッセージに、出席者一同耳を傾けました。

11月8日(木)、1年生を対象とした「PTA社会人講座」を開催しました。文理選択のこの時期に3年生の学級委員・PTA役員に紹介していただいた8名の講師の方々に仕事に就いたきっかけや、どんな資格が必要かを目の前で生の声を聴くことができる貴重な講話を毎年開催しています。

今年の講師として、警察官、税理士、弁護士、看護師、接骨院院長、幼稚園園長、学芸員、農業生産法人有限会社経営の方々に来校していただきました。お忙しい中、普段ではなかなか聞くことができない職業の方々に講話を来ていただき、生徒たちも緊張した姿で聞き、熱心に書き取る姿が見られました。

実際に仕事道具を持ってきていたり、体験したり、その職業について語りました。また、講師の方も自分の職業にやりがいを持つて仕事をされていて、生徒たちも緊張した姿で聞き、熱心に書き取る姿が見られました。



● 生徒の感想

先生の話を聞いて、楽しかったです。自分のために自分が楽な道ではなく、ためになるような道を選んでいました。

講師の皆様には平日のとてもお忙しい中御協力していただきとても感謝しております。誠にありがとうございました。



私がどうぞいました。

私は将来看護師になりたいと思っていますけど先生みたいな様々な所まで気がつけるような看護師になりたいと思いました。接骨院は「ついて」の医療だとおっしゃっていました。今回のを見て体全体のバランスから治そうとしていたので立派な医療なのではないかなと思いました。今回の講座で、1点に注目するだけでなく、様々な視野で立派な医療なのではないかなと思いました。このように頑張っていきたいと思います。

全国高P連大会に参加して

副会長 今井 省吾

8月20日(月)・21日(火)の2日間の日程で、第68回全国高等学校PTA連合会大會佐賀大会が4会場4分科会に分かれ開催され、私は鳥栖市民会館会場の第3分科会に参加しました。



佐賀大会テーマは「広めよう高めよう慈しむ心、君たちがくる希望の明日」でした。講演、パネルディスカッション、PTA活動事例発表が多数行われました。

「慈しむ心」の意味は、かわいがり大切にする、愛おしむです。(慈の意味は、眞の友情 純粹の親愛、情けをかける、です)。「慈しお心」を育てるためには、先ず相手の気持ちを考え自分の事は後にする。相手の心の痛みを知り自分の痛みとする。相手が自分に何を求めているのか理解し如何に助ければ良いのかを考えることなく相手に助けを与える見返りを期待せず借りることなく相手に助けを与える



「慈しむ心」の意味は、かわいがり大切にする、愛おしむです。(慈の意味は、眞の友情 純粹の親愛、情けをかける、です)。「慈しお心」を育てるためには、先ず相手の気持ちを考え自分の事は後にする。相手の心の痛みを知り自分の痛みとする。相手が自分に何を求めているのか理解し如何に助ければ良いのかを考えることなく相手に助けを与える見返りを期待せず借りることなく相手に助けを与える見返りを期待せず借りることなく相手に助けを与える

かる心を持つ事です。そうする事により、いつしか全く別の所から自分が助けがきます。それには、心の奥深くに、「どこまでも広い海、果てしなく広がる空、何でも包みこんでしまう雲の様な壮大な宇宙」を持つておく必要があります。私たち保護者はその心の奥いも照らし続け、見守り続ける太陽でなくてはなりません。子ども達が間違いを犯しそうになれば、命がけで叱り、話し合い、助けてあげなければなりません。

講演の中で「お節介なシンセキのオバチヤン」になりませんことや、「お節介なシンセキ」の意味を説いていました。ある人の育成に努めていかなければなりません。

私たち保護者は、学校、地域と手を取り合い、慈しむ心を持つ心豊かな人、自立し社会を構築する人間力の育成に努めています。

給水ボランティア活動に参加して

3年保護者 島中 和代



昨年につけき今年も給水活動のお手伝いをさせていただきました。延期になつて行われた体育祭。小雨の降る中、思つたりも肌寒く感じましたが、給水所には多くの子ども達が冷たい飲み物を求めて来てくれました。給水を知らない1年生は少し遠慮しながら、「これ飲んでもいいですか?」と水分補給していましたが、飲み終えた後はどの子も大きな声でお礼の言葉をかけってくれました。

高校生になり、少し大人びた様子の子ども達の普段見えてくれない無邪気な笑顔「」を沢山見ることが出来、私も楽しかったです。(S・H)

e are シンセキ」。その言葉を耳にすると心の奥に温もりと安心感と余裕が生まれ頬もゆるみます。齊田気を和ます言葉です。

世界は、IT革命により情報化社会へと変化しています。SNSを利用して情報発信で50億人と繋がります。SNSではお互いに監視し合い、叩き合いが行なわれています。AI技術の進歩により人間関係も崩されようとしています。だから

活動から離れて、文化祭や体育祭を思いつき楽しむことも高校生にとって大切。高校生活の貴重な一瞬を満喫する子ども達を見て、自然とこちらも笑顔になることができました。来年こそは焼き鳥ができるように…。

活動から離れて、文化祭や体育祭を思いつき楽しむことも高校生にとって大切。高校生活の貴重な一瞬を満喫する子ども達を見て、自然とこちらも笑顔になることができました。生徒たちのいきいきとした眼差しと、真剣な姿勢、笑顔あふれる表情、何よりも全てにおいて創造的なセンスを感じました。それが能動的に取り組むことで生まれる新しい加茂高文化があちこちに表現されていて、取材する側がワクワクドキドキする貴重な空間と時間でした。気付かないと、自分も笑顔になっていました。そんなエネルギーたっぷりの加茂高祭でした。

PTAハサードに参加して

広報委員 井戸 伸

(Y・W)

PTA役員では、加茂高祭でバザーを行いました。残念ながら前日までの天気の都合によって焼き鳥はできなかつたのですが、今年もアイスカフエは大好評。

お店にやってくる子ども達はみんな笑顔でイキイキとしています。きっと一年で一番楽しい学校の日、それが今も昔も加茂高祭なんだなあとと思いました。いつもの学習

祭でバザーを行いました。

残念ながら前日までの天気の都合によって焼き鳥はできなかつたのですが、今年は「牛懸命説明してくれる姿」恥ずかしそうに、でもこの時を楽しもうとする姿。舞台の裏方として走り回っている姿、応援団の演舞とともに団結して応援する姿…。遙か昔に加茂高生だった自分を重ね合わせながら、今を生きる生徒の皆さんがあつく見えた加茂高祭でした。

加茂高祭を取材して

生徒の皆さんのいきいきとした笑顔にたくさん出合えた3日間でした。展示について牛懸命説明してくれる姿、恥ずかしそうに、でもこの時を楽しもうとする姿。舞台の裏方として走り回っている姿、応援団の演舞とともに団結して応援する姿…。遙か昔に加茂高生だった自分を重ね合わせながら、今を生きる生徒の皆さんがあつく見えた加茂高祭でした。

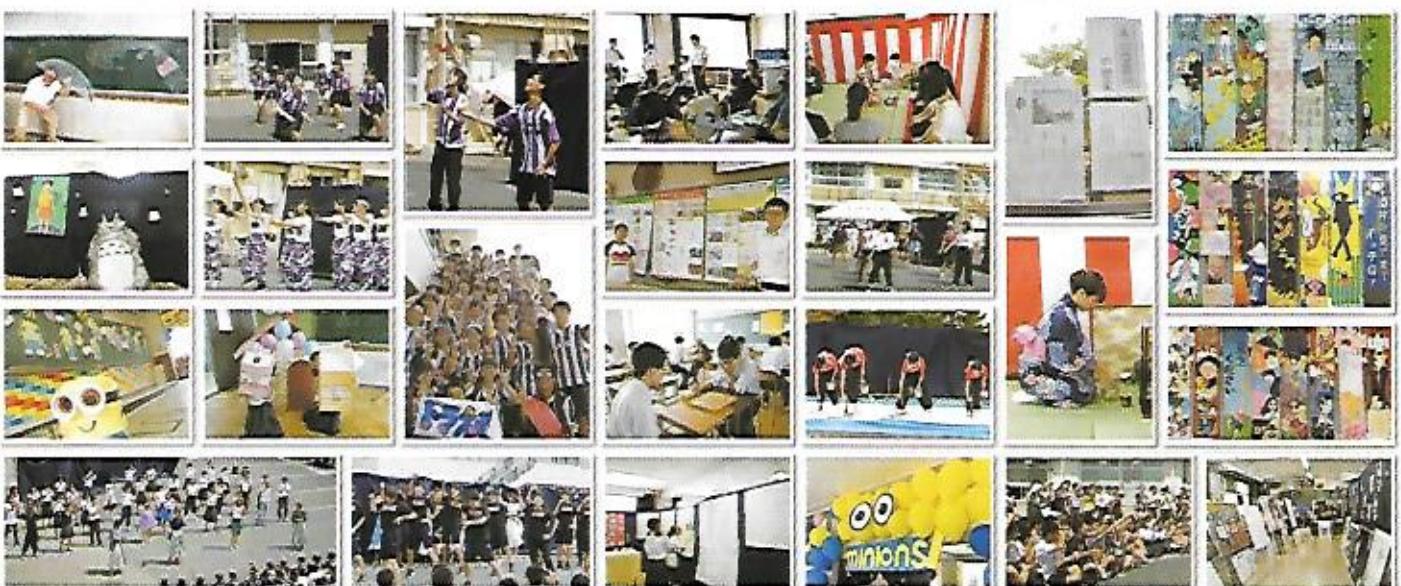
(Y・W)





文化祭 表彰クラス

加茂高大賞	3年1組	ステージ発表
優秀賞	3年4組	ステージ発表
	3年5組	ステージ発表
	2年1組	パフォーマンス
投票賞	1年1組	展示
最優秀のぼり賞	3年7組	ステージ発表
優秀のぼり賞	3年3組	
	3年8組	

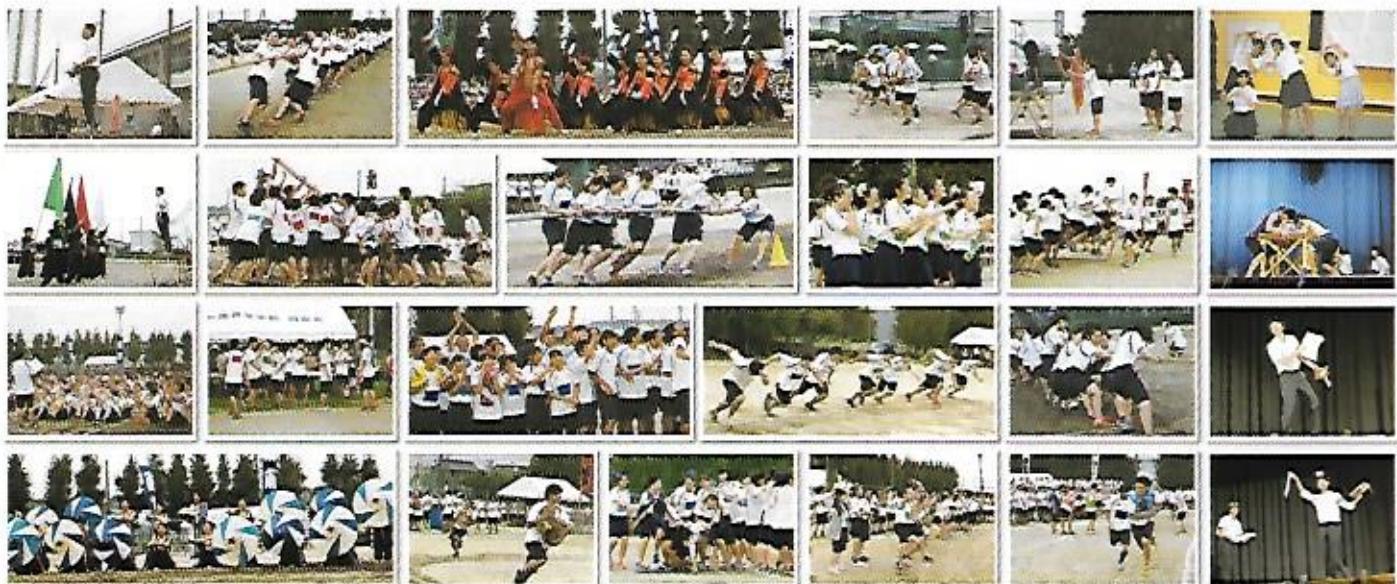


加茂 The 12th



体育祭 成績結果

	優勝	準優勝	3位	4位
総合	北部	南部	東部	西部
応援	南部	東部	北部	西部



理数科の活動

理数科では校外研修等の活動をとおして、生徒の進路選択や主体的な学習を進めています。

校外研修

【乗鞍岳野外研修】

7月20日(金)

1年生

乗鞍岳は「標高と植生」の関係について観察できる貴重な場所です。



乗鞍岳は「標高と植生」の関係について観察できる貴重な場所です。特に森林限界の上のハイマツや高山植物を観察する機会はほとんどありません。地形や土壤などと植物の関係をグループごとに観察しました。

【新日本住金名古屋製鉄所・中部電力知多発電所見学】

2年生



7月19日(木)
産業の中でも
科学技術がどう
のようになされて
いるか
を知るために
見学を行いました。
真っ赤な鋼板が目の前を通過しながら
ローラーで伸ばされていく過程

「人の生活に役立つ微生物の力」
講師…吉田 豊和氏(岐阜大学工学部化学・生命工学科 教授)
昨年度に取り組んだ課題研究の成果を、校外の発表会等で評価を受けることを行っています。将来の進路実現につながることを期待しています。

● **プラズマ・核融合学会**
高校生シンポジウム □頭発表
奨励賞

● **全国理数科教育研究大会岐阜大会**
高校生課題研究発表
e-kamo環境フェア2018

11月12日(月)、岐阜県ふるさと教育週間に伴い、5限から7限にかけて、授業、LHRの他、大学の研究者や美濃加茂市選挙管理委員会等の講師による出前講座を行い、保護者や地域の皆様に公開しました。

10月12日(月)
「人の生活に役立つ微生物の力」
講師…吉田 豊和氏(岐阜大学工学部化学・生命工学科 教授)

● **理数科出前講座**
東京大学客員研究员
(国際医療福祉大学准教授・
講師…杉本真樹氏)

● **プレゼンテーション講座**
9月11日(火)
(国際医療福祉大学准教授・
講師…吉田 豊和氏)

ふるさと教育週間

芸術鑑賞会

「M ALTA Hit & Run スペシャルライブ」

10月24日

水の午後、

本校体育館において、

芸術鑑賞会

を行いました。

た。今年度は音楽鑑賞

というこ

と、有名なテナーサックス奏者

であるM ALTAさんのライブ

を聴くことができました。クラ

シックからボップス、民族音楽

と、様々なスタイルの音楽が

ジャズになっていく、そんな音

楽史とジャズの関わり

を体験でき



◆理数科出前講座（6・7限連続）1・2年生理数科
岐阜大学工学部出前講座「人の生活に役立つ微生物の力」
講師…化学・生命工学科生命化学コース 吉田 豊和教授

◆1年生出前講座（7限）1年生普通科
「みのかも地域づくり活動について学ぶ」
講師…美濃加茂市地域振興課

◆2年生出前講座（7限）2年生普通科
「Let's Vote ~あなたの声を届けよう~」
講師…美濃加茂市選挙管理委員会事務局

◆3年生公開LHR（7限）3年生全クラス
ふるさとにちなんだ内容のLHR

《生徒の感想》

◆普段あまり触れないジャズの音楽が楽しめて良かったです。マルさんの言葉にとっても元気がもらいました。

◆私たちが知っている曲から昔の曲まで、たくさんの曲を聴くことができて楽しかったです。校歌もすごくおしゃれにアレンジしてあって、自分たちがいつも歌っている校歌じゃないように感じました。

◆一人ひとりが目を合わせてみんなで曲をつくりあげていて、すこく世界観に引き込まれました。歌もすごくおしゃれにアレンジしてあって、自分たちがいつも歌っている校歌じゃないように感じました。

◆人々、今後ジャズをやりたいと思っていたので、より一層やりたい気持ちが出てきました。本当にプロはすごいなと思いました。

◆ジャズは今まで一度も聴いたことがなかったので、楽しかったです。ほとんどの曲が聴いたことがありませんでしたが、一つ聴いたことがある曲があつてジャズになるといつもと違う曲のようになって歌つて聴いたことがある曲があつてジャズになるといつもと違う曲のないなんかこんな風に変わるものなんだと思います。すごく楽しかったです。



◆理数科出前講座（6・7限連続）1・2年生理数科
岐阜大学工学部出前講座「人の生活に役立つ微生物の力」
講師…化学・生命工学科生命化学コース 吉田 豊和教授

◆1年生出前講座（7限）1年生普通科
「みのかも地域づくり活動について学ぶ」
講師…美濃加茂市地域振興課

◆2年生出前講座（7限）2年生普通科
「Let's Vote ~あなたの声を届けよう~」
講師…美濃加茂市選挙管理委員会事務局

◆3年生公開LHR（7限）3年生全クラス
ふるさとにちなんだ内容のLHR

◆理数科出前講座（6・7限連続）1・2年生理数科
岐阜大学工学部出前講座「人の生活に役立つ微生物の力」
講師…化学・生命工学科生命化学コース 吉田 豊和教授

◆1年生出前講座（7限）1年生普通科
「みのかも地域づくり活動について学ぶ」
講師…美濃加茂市地域振興課

◆2年生出前講座（7限）2年生普通科
「Let's Vote ~あなたの声を届けよう~」
講師…美濃加茂市選挙管理委員会事務局

◆3年生公開LHR（7限）3年生全クラス
ふるさとにちんだ内容のLHR

◆理数科出前講座（6・7限連続）1・2年生理数科
岐阜大学工学部出前講座「人の生活に役立つ微生物の力」
講師…化学・生命工学科生命化学コース 吉田 豊和教授

◆1年生出前講座（7限）1年生普通科
「みのかも地域づくり活動について学ぶ」
講師…美濃加茂市地域振興課

◆2年生出前講座（7限）2年生普通科
「Let's Vote ~あなたの声を届けよう~」
講師…美濃加茂市選挙管理委員会事務局

◆3年生公開LHR（7限）3年生全クラス
ふるさとにちんだ内容のLHR

部活動報告



団体(福井県) ボート部

5位

6位

6位

少年男子舵手付きクオドルブル 岐阜選抜(松川)

少年男子シングルスカル 柏植

少年女子舵手付きクオドルブル 岐阜選抜(日比野、稻村、宮田、猪野)

自然科学・生物部門 文化連盟賞 研究発表「アルゼンチンアリの合成道しるべ」

男子舵手付きクオドルブル(三嶋、柏植、水野、七野、山岡)

男子ダブルスカル(佐伯、渡辺)

全国高校総合文化祭 自然科学部

全国選抜大会出場権獲得 ボート部

地区選抜大会	日本ボート協会ラントン活動	女子	日本ボート協会ラントン活動	男子
女子	日本ボート協会ラントン活動	日本ボート協会ラントン活動	日本ボート協会ラントン活動	日本ボート協会ラントン活動
日本ボート協会ラントン活動	日本ボート協会ラントン活動	日本ボート協会ラントン活動	日本ボート協会ラントン活動	日本ボート協会ラントン活動
日本ボート協会ラントン活動	日本ボート協会ラントン活動	日本ボート協会ラントン活動	日本ボート協会ラントン活動	日本ボート協会ラントン活動
日本ボート協会ラントン活動	日本ボート協会ラントン活動	日本ボート協会ラントン活動	日本ボート協会ラントン活動	日本ボート協会ラントン活動

地区選抜大会	日本ボート協会ラントン活動	女子	日本ボート協会ラントン活動	男子
日本ボート協会ラントン活動	日本ボート協会ラントン活動	日本ボート協会ラントン活動	日本ボート協会ラントン活動	日本ボート協会ラントン活動
日本ボート協会ラントン活動	日本ボート協会ラントン活動	日本ボート協会ラントン活動	日本ボート協会ラントン活動	日本ボート協会ラントン活動
日本ボート協会ラントン活動	日本ボート協会ラントン活動	日本ボート協会ラントン活動	日本ボート協会ラントン活動	日本ボート協会ラントン活動
日本ボート協会ラントン活動	日本ボート協会ラントン活動	日本ボート協会ラントン活動	日本ボート協会ラントン活動	日本ボート協会ラントン活動

地区選抜大会	日本ボート協会ラントン活動	女子	日本ボート協会ラントン活動	男子
日本ボート協会ラントン活動	日本ボート協会ラントン活動	日本ボート協会ラントン活動	日本ボート協会ラントン活動	日本ボート協会ラントン活動
日本ボート協会ラントン活動	日本ボート協会ラントン活動	日本ボート協会ラントン活動	日本ボート協会ラントン活動	日本ボート協会ラントン活動
日本ボート協会ラントン活動	日本ボート協会ラントン活動	日本ボート協会ラントン活動	日本ボート協会ラントン活動	日本ボート協会ラントン活動
日本ボート協会ラントン活動	日本ボート協会ラントン活動	日本ボート協会ラントン活動	日本ボート協会ラントン活動	日本ボート協会ラントン活動

地区選抜大会	日本ボート協会ラントン活動	女子	日本ボート協会ラントン活動	男子
日本ボート協会ラントン活動	日本ボート協会ラントン活動	日本ボート協会ラントン活動	日本ボート協会ラントン活動	日本ボート協会ラントン活動
日本ボート協会ラントン活動	日本ボート協会ラントン活動	日本ボート協会ラントン活動	日本ボート協会ラントン活動	日本ボート協会ラントン活動
日本ボート協会ラントン活動	日本ボート協会ラントン活動	日本ボート協会ラントン活動	日本ボート協会ラントン活動	日本ボート協会ラントン活動
日本ボート協会ラントン活動	日本ボート協会ラントン活動	日本ボート協会ラントン活動	日本ボート協会ラントン活動	日本ボート協会ラントン活動

地区選抜大会	日本ボート協会ラントン活動	女子	日本ボート協会ラントン活動	男子
日本ボート協会ラントン活動	日本ボート協会ラントン活動	日本ボート協会ラントン活動	日本ボート協会ラントン活動	日本ボート協会ラントン活動
日本ボート協会ラントン活動	日本ボート協会ラントン活動	日本ボート協会ラントン活動	日本ボート協会ラントン活動	日本ボート協会ラントン活動
日本ボート協会ラントン活動	日本ボート協会ラントン活動	日本ボート協会ラントン活動	日本ボート協会ラントン活動	日本ボート協会ラントン活動
日本ボート協会ラントン活動	日本ボート協会ラントン活動	日本ボート協会ラントン活動	日本ボート協会ラントン活動	日本ボート協会ラントン活動

加茂高ホームページ <http://school.gifu-net.ed.jp/kamo-hs/>

回定時制のページです。

照明祭

11月1日(木)、11月2日(金)に照明祭を開催しました。第1回目の文化の部は、各クラスの企画発表や1・4年生の音楽発表と書道展、有志のダンス、第2回目の体育の部は、バレー、ボルを行いました。みんなが協力して準備し、とても盛り上がった2回間となりました。



報告
食品販売(4年生)での売上金2万8百円を、11月26日(月)に中日新聞社を通じて、社会福祉事業団に寄付しました。ご協力ありがとうございました。

11月間みんなと過ごさせて、一生の思い出になった。」「沖縄に行くのは初めてだったけど、フィリピンに似ているすごく懐かしい感じがした。」温かい人と繊細な海に囲まれたとき、充実した3日間でした。



11月7日(水)～9日(金)
ひめゆりの塔などの平和学習や、タクシーリンク、国際通り散策などの班活動を行いました。生徒たちは修学旅行をとおして、社会性や協調性を身に付けることができたのではないかと思います。



修学旅行 in 沖縄(3年生)

部活動

県高等学校定時制通信制 秋季大会



●サッカー部
1試合 ● 1-1
2試合 ● 0-6 華陽F



●バドミントン部
女子シングルス
1回戦 ● 0-1 岐阜工
2回戦 ● 1-0 華陽F
1年 アマドミカ
1年 ヌエズミチ

生活体験発表大会

アルビエリ二コラスさん(4年)が本校定時制を代表して「岐阜県高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会」で発表していました。その結果、見事最優秀賞を受賞し、11月24日に東京都で行われる全国大会に出場する結果となりました。全国大会の結果と内容は、3月1日発行の「明星かも」に掲載します。

●バスケットボール部
1回戦 ○○○ 準決勝 ○○○ 決勝 ○○○
清凌 46-29 東濃F 39-29 城南 72-71

●アクティブランニング部
第3回岐阜県高校英語プレゼンテーション大会
発表タイトル
Make Japan better to make the world better.

ペスト・アゼンター賞
4年 アルビエリ二コラス

●進学合格
・トヨタ名古屋自動車大学校
・岐阜聖徳学園短大
・名古屋造形大学

進路状況

平成30年度(11月22日現在)

・就職内定
・美濃加茂市役所
・レクセント
・インテックスケイ

・東海化成工業
・日本金属
・アンドモア
・美濃加茂ガス
・ダイオーロジステイツ
・名古屋ペーパーテック
・ファミリー・カーショップ
・サカイ引越センター
・大坂屋製菓

・金山機械
・デンソーウィズテック
・丸七運輸
・ディーウン